
[成果情報名] 電照栽培用秋ギク新系統「福花3号」および「福花4号」

[要約] 秋ギク系電照ギクの黄色系統として、花卉が管状で花が大きい「福花3号」およびピンク系統として、花色がよく、草姿が優れる「福花4号」を育成した。いずれもホームユース需要としての消費が期待できる。

[キーワード] 秋ギク、電照抑制栽培、品種育成

[担当部署] 花き部・花き育種チーム

[連絡先] 電話 092-922-4958

[対照作物] 花き・花木

[専用項目] 育種

[成果分類] 品種育成

[背景・ねらい]

キクの用途は葬祭用等の業務需要が中心であるが、一方でホームユース用等の多様な需要に対応した品種の生産が求められている。県内キク産地では、これらの需要に対応し黄色や赤色などの特徴的な形質を有するキクを栽培し、オリジナル品種として産地の活性化を図っている。

そこで、キクの多様な需要を喚起するとともに、オリジナル品種による産地の活性化を支援するため、多様な需要に対応した品種・系統を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 黄色の「福花3号」は、平成14年に本場保有の黄色系秋ギク系統群500株を集団栽培し、集団内の個体間による交雑により約4,500粒の種子を得た。15年に、これらの実生4,200株の中から花容・草姿が優れる系統の1次選抜を行い、16年および17年に電照抑制12月出し栽培で形質が安定していることを確認し、「福花3号」として育成を終了した。
2. ピンク色の「福花4号」は、平成15年に秋ギク系統群528株を集団栽培し、集団内の個体間による交雑により約3,000粒の種子を得た。16年にこれらの実生2,600株の中から花容・草姿が優れるピンク系統を選抜し、17年に電照抑制12月出し栽培で2次選抜を行って「福花4号」として育成を終了した。
3. 「福花3号」は、花色は「精興の秋」よりもやや薄い「浅黄」であるが、収穫日が3日早く、花卉（舌状花）が管弁で特徴があり、花径が大きい（表1、図1）。
4. 「福花4号」は、花色が淡いピンク色で花容・草姿が優れる。収穫日が「精興の秋」より5日早く、花径が大きく、花卉数が多い（表1、図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 両品種とも特徴的な形質を有することから、ホームユース用等、多様な用途に向けた消費が期待できる。
2. 多様な需要に対応した生産をめざす産地のためのオリジナル系統として活用できる。

[具体的データ]

表1. 「福花3号」および「福花4号」の特性(平成17年)

系統 品種	収穫日 月/日	開花日 月/日	切り花長 cm	葉数	側枝数	重量 g	花色	花径 cm	小花数	
									舌状花	筒状花
福花3号	12/12	12/21	102	42.8	37.6	93.4	浅黄	13.7	278	20.2
福花4号	12/10	12/17	91.5	45.6	36.4	95.4	淡紫ピンク	13.2	220	66.2
精興の秋	12/15	12/26	102	39.4	18.2	81.4	明黄	12.5	163	145

注)1. 7月28日～8月7日まで挿し穂冷蔵、8月8日挿し芽、8月22日～9月11日まで苗冷蔵

9月12日定植、10月21日電照打ち切り

2.花色はJHSカラーチャート名



図1. 「福花3号」



図2. 「福花4号」

[その他]

研究課題名：秋ギクおよび夏秋ギクの新品種の育成

予算区分：経常

研究期間：平成17年度（平成15～18年）

研究担当者：谷川孝弘、松野孝敏、國武利浩、巢山拓郎、山田明日香、坂井康弘、黒柳直彦